

やまのこ保育園 リズム研修（長野4園）

7月4日5日6日と深野さんにきて頂き、やまのこ保育園で長野でのリズム講習が行われました。今まで、大人のリズム講習では深野さんから学ぶ機会はありませんでしたが、子どもとリズムをしながら学ぶ機会は中々なかったので、今回のリズムは深野さんの子どもと関わる姿から学ぶことが多く「保育とは」を改めて自分自身に問う機会になりました。

1日目は2時間と短い時間でしたが、声をかけるタイミングや戸惑いを感じ一歩を踏み出せないでいる子どもには、その一歩を自ら踏み出せるような働きかけをし、子どもがリズムに向かっていく姿には保育者としてリズムをどう捉えるのか考える機会にもなりました。

2日目は、午前は親子リズム、午後は絵を並べての職員会。こども一人一人の絵から読み取ることの深さ、背景にある子どもの育ちまで受け止めることなど改めて保育の深さを感じ、また職員みんなで、話しあって行くこと、深めあいができる職員会にしていきたいと思いました。

3日目は大人のリズム。体がきついこともありましたが、とても楽しく体を動かすことができました。深野さんの大人にも子どもにも真っすぐに向き合う姿が印象的な3日間でした。



山の子保育園 年長 大わし組

7月29日～30日でお泊まりをしました。

なか日は、美ヶ原登山（標高2034m）！ダテ河原登山口からスタートし王ヶ頭ホテル～美ヶ原高原～百曲がりコースでの下山。地元の小学生が林間学校で行く約9キロのコースを、大きなリュックを背負い、自分の足で一步一步登りきりました。

この日は松本でも36度を超える猛暑日。登山中の体調など心配しましたが、山の中は湿度が少なく歩きやすい気候でした。そして、スッパリした青空！とっても気持ちのいい登山日和でした。うっそうとした山登りから始まり、スタートから「まだあ？」の声もありましたが、徐々に木々が低くなり、視界が開けてくると、疲れながらも元気が戻ってきて、遠くの北アルプスも中央アルプスも良く見え、山々の折り重なる壮大な景色を堪能しながら、ゴールの王ヶ頭まで。ゴールでは直前で足を怪我してしまったHが待っていてくれ、みんなと再会できました。お弁当を食



べた後は元気も回復！絶景の美ヶ原高原の壇上の散策では、高原の牛が塩を食べることに興味津々。またトンボが沢山飛び交っていて、追いかけて楽しそうに歩いていました。下山は百曲がりコース。冷たい、それはそれは冷たい沢が流れる広木場のところまで、一気に下山！冷たい沢の水に何秒足を付けられるか我慢大会！5秒も入れると、冷たさで痛いくらいですが、子どもたちはへっちゃら！疲れた足も一気にスッカリしました。とても疲れがありつつもとても充実した表情、誇らしげな表情の子どもたち。今回のお泊まりでも、仲間の力を借りながら、また仲間から元気をもらいながら、乗り越えていた姿がとても印象的でした。

海野保育園 年長 かもしか組

夏の活動・あそびを子ども達は毎日満喫しています。7月は親子登山で八方池に行ってきました。快晴の青空のなか北アルプスの雄大な山並みを眺め親子で会話をしながらの楽しい山歩きとなりました。八方池周辺でお弁当を食べ下山後は北アルプスの雪解け水が流れる清流で川遊びとイワナのつかみ捕り体験をしました。子ども達はもちろんですが保護者の方にも「面白い！楽しい！」を経験してもらうことができた一日でした。



新潟県柏崎市の海あそびでは魚が群れで泳ぐ姿を目の前でみることができ、その速さに驚く子ども達でした。海の中に顔を入れてじっと見てみると、より一層魚の泳ぐ姿が近く感じられました。堤防から海の中にジャンプして飛び込みを何度も繰り返して挑戦したり、海泳ぎもたっぷりと楽しむことができました。

岩にかくれたイワナはどこだ?!



魚はいるかな?



戸隠夏合宿～さかさ川源流登り～

上高田保育園

7月末に2泊3日の合宿がありました。初めて親御さんから離れて過ごす子ども達、期待と不安の気持ちを正直に出し、みんなでたくさん話をして当日を迎えました。1日目には逆川という川で長さ2キロ以上の川歩きを体験します。逆川は、イワナが生息している清流で、水も冷たく、浅瀬が多く、深見のある所は気を付けて、大人が手渡しで上っていきます。倒木で、川がさえぎられているところもあり、子ども達は工夫しながら渡っていきます。

ここにしかない、サンショウウオ、イワナを見つけたりします。原生林の中で蝉の泣き声や、小鳥のさえずりを聞き、時に静寂の中、耳の澄ませ、ひんやりした空気を感じ、水の冷たさを感じます。五感を研ぎ澄ませます。熊の生息地であるため、子ども達には、熊に出会ったらどうするかを話し合います。熊鈴を鳴らしたり、大人は熊除けスプレーや、爆竹を持っています。



昨年も川遊びに来ていた逆川、下流で遊んでいた穏やかな景色とは違い、源流に近づくにつれて回りの景色も変わり流れの速さや水深も増し、子ども達にとっても少し不安になる場所もありました。そんな気持ちを励ますかのように友だち同士で、「ここまでくればもう少しだよ!」「そっちは深いからこっちがいいよ」「この木はくぐった方がいいよ」「手をつないであげるよ」など声かけをする姿、また一人一人が一步一步しっかりと足取りに驚かされました。また、自然の雄大な姿や動植物の発見に、心を大きく動かされている子ども達の姿は、いつもの表情とはまた違った心の変化を感じさせられた時間となりました。